

平成 28 年度地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について

1 昨年度との相違点

今年度は、昨年度策定した地域医療構想を踏まえた、初めての会議です。

昨年度同様、幅広い分野の委員から、それぞれの立場でご意見をいただきますが、今年度からは、次の方法を加えることにより、**2025年に向けて地域の医療提供体制の一層の充実**を図ろうと考えています。

- 議論を効果的に行うため、事前に医療関係者の皆様に資料を送付します。
- 提供させていただいた情報をもとに、望ましい医療提供体制について意見を交換する場として、この会議を位置づけています。
- また、**2025年の地域における医療提供体制を考える契機**としていただきたいと、考えています。
- その結果、**医療機関の自主的な取組**や6年後の考え方が病床機能報告に反映され、次年度につながるものと考えています。
- そのためにも、当日は、多くの関係者の皆様に参加いただき、**積極的な発言**をお願いしたいと考えています。

2 事前に送付させていただく資料について

- 資料『地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について』

今年度初めての参加者もいらっしゃることから、会議の設立経緯、本年度の目的などを説明いたします。

- 資料『病床機能報告の結果について』

病床機能報告に基づき、各医療機関の医療提供体制などお示しています。

- 資料『地域の現状について』

- ・ 医療資源の現状
- ・ 医療需要の推移等
- ・ 疾病ごとの受療動向や対応する医療機関の現状
- ・ 在宅医療

などについて、詳細なデータの提供に努めています。